

2021年度(2022年3月期) 第3四半期決算説明会

2022年1月28日
セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。
なお、業績などに影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年号：断りが無い限り、会計年度を示す

■ ご説明のポイント

- 第3四半期実績
- 2021年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

- 第3四半期(前年同期比)
売上収益 2,961億円(+173億円)、事業利益 272億円(-39億円)
 - COVID-19影響からの市場回復や継続する在宅印刷需要を捉え増収、高騰した部材費・物流費の影響により減益
 - 社内計画比では、部材調達難・物流混乱による供給制約があったものの、価格対応や費用抑制により、事業利益が約70億円上回った
- 通期業績予想(前回10/29予想比)
売上収益 11,300億円(据え置き)、事業利益 850億円(+50億円)
 - 供給制約の悪化、航空輸送対応などによる物流費の増加はあるものの、価格対応や費用抑制により、売上収益は据え置き、事業利益を上方修正

- 本日のご説明のポイントはご覧の通りです。
- 第3四半期は、前年同期比で、新型コロナウイルス影響からの市場回復や継続する在宅印刷需要を捉え増収、高騰した部材費・物流費の影響により、減益となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益は計画並、事業利益は70億円程度上回りました。
- 部材調達難・物流混乱による供給制約があったものの、需給バランスや部材費・物流費の増加を踏まえた価格対応を実施し、さらに費用も抑制しました。
- 通期業績予想は、前回予想から、売上収益を据え置き、事業利益を上方修正とします。
- 本日はこれらについて、詳しくご説明します。

- ご説明のポイント
- **第3四半期実績**
- 2021年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

2021年度 第3四半期決算 | ハイライト

	2020年度		2021年度		対前年同期			
	(億円)	Q3実績	%	Q3実績	%	増減額	増減率	
売上収益		2,788		2,961		+173	+6.2%	
事業利益		311	11.2%	272	9.2%	-39	-12.7%	
営業利益		246	8.8%	303	10.2%	+57	+23.3%	
税引前利益		228	8.2%	311	10.5%	+83	+36.5%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		160	5.8%	250	8.4%	+89	+55.8%	
EPS*1 (円)		46.42		72.30				
為替レート (円、指数)	USD	¥104.48		¥113.71				
	EUR	¥124.51		¥130.08				
	その他通貨*2	100		109				
				為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
				売上収益	+73	+20	+74	+168
				事業利益	-16	+12	+36	+32

*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ポリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

- それでは、第3四半期の実績についてご説明します。
- 売上収益は、前年同期に対して173億円増収の2,961億円、事業利益は、39億円減益の272億円となりました。
- 為替変動により、売上収益に168億円、事業利益に32億円のプラス影響はありましたが、供給制約や部材費・物流費の増加により、業績は大きな影響を受けました。
- 前年同期には、その他の営業費用で、ウェアラブル機器事業の減損損失36億円や為替差損を計上した一方、当四半期は、その他の営業収益に、海外現地法人における税金の返還分21億円を計上したことなどから、四半期利益は、89億円増益の250億円となりました。

プリンティングソリューションズ		2020年度 Q3実績	2021年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益		1,952	2,053	+100	+114	+5.1%
セグメント利益		401	308	-93	+14	-23.2%
セグメント利益率		20.6%	15.0%			

オフィス・ホームプリンティング		2020年度 Q3実績	2021年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益		1,448	1,503	+54	+81	+3.8%
構成比	オフィス・ホームIJP					88%
	SIDM					5%
	その他					7%
事業利益		307	229	-77	+5	-25.3%
事業利益率		21.2%	15.3%			

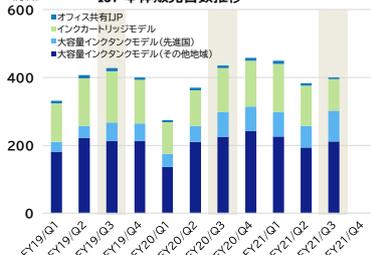
■ プリンティングソリューションズ

- 供給制約がある中、増収となるものの、部材費・物流費の高騰などにより減益

■ オフィス・ホームプリンティング

- IJP本体は需給バランスを踏まえた価格対応、先進国での大容量インクタンクモデル伸長などにより増収
- ・ IJPインクは、在宅印刷需要が継続し前年同期並
- ・ 供給制約がある中、オフィス共有IJPは増収、SIDMは中国向けを中心に減収、スキャナー(その他)は増収
- 部材費・物流費の高騰などにより減益

(万台) IJP本体販売台数推移



IJPインク売上収益推移(円貨、前年同期比)



(億円) オフィス共有IJP売上収益推移



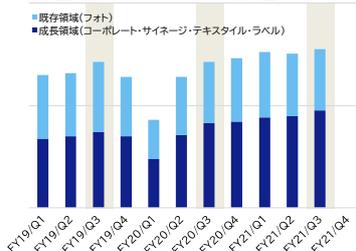
- プリンティングソリューションズの実績はご覧のとおりです。
- 売上収益は、前年同期に対して、100億円 増収の 2,053億円となりました。
- セグメント利益は、93億円 減益の 308億円となりました。
- 同セグメント内のオフィス・ホームプリンティングは、部品調達難や物流混乱による供給制約がある中、売上収益は、SIDMが前年同期並、オフィス・ホームIJPは増収となりました。
- 左下のグラフのように、オフィス・ホームIJPの本体は、需要は強いものの、供給制約があり、販売数量は前年同期比でマイナス8%となりましたが、売上収益は、需給バランスを踏まえた価格対応により、増収となりました。
- インクカートリッジモデルの販売数量は、前年同期比で減少しました。
- 大容量インクタンクモデルの数量は前年並に留まりましたが、先進国では認知度向上に向けた広告宣伝の効果により、販売が拡大しました。
- IJPインクの売上収益は、中央のグラフのとおり、需要が高かった前年同期とほぼ同水準であり、在宅印刷需要も継続していると考えています。
- インクカートリッジが減少した一方、強化領域である大容量インクタンクモデル、オフィス共有IJPのインクが増加しました。
- オフィス共有IJPは、本体で供給制約がある中でも、増収でした。オフィスの再稼働が進んだことに加え、市場での本体稼働台数の増加に伴うインク使用量が増え、右のグラフのとおり、着実に伸長しました。
- これらの要因により、オフィス・ホームプリンティングは、前年同期に対して 54億円の増収となったものの、部材費・物流費の高騰やインクカートリッジの減少などにより、77億円の減益となりました。

商業・産業プリンティング	2020年度 Q3実績	2021年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	504	550	+45	+32	+9.0%
商業・産業IJP	357	391	+33		+9.4%
小型プリンター他	146	158	+11		+8.2%
事業利益	94	79	-15	+9	-16.5%
事業利益率	18.8%	14.4%			

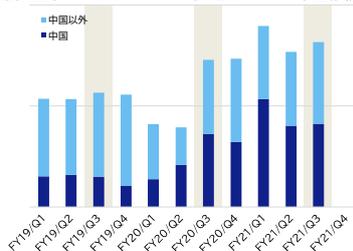
■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJPの市場回復には濃淡
 - ・ 完成品ビジネスは、供給制約があるものの、商品ラインアップ強化の効果があり増収
 - ・ プrintヘッド外販ビジネスは中国や日本で伸長
- 小型プリンターは、小売業・飲食業で、需要の回復が進むものの、供給制約により増収は限定的

商業・産業IJP:完成品ビジネス売上収益推移



商業・産業IJP:プリントヘッド外販ビジネス売上収益推移



小型プリンター他売上収益推移



- 商業・産業プリンティングは、前年同期に対して、売上収益は、45億円増収の550億円となりましたが、事業利益は、部材費の高騰や、航空輸送対応などの物流費の増加などにより、15億円減益の79億円となりました。
- 商業・産業IJPにおいて、完成品ビジネスは、供給制約があるものの、商品ラインアップ強化の効果があり、左下のグラフのとおり、成長領域であるサインージ・テキスタイル・ラベルなどで、販売が着実に伸長しています。
- プrintヘッド外販ビジネスは、中央のグラフのように、中国や日本で、販売が増加しました。
- 小型プリンターは、小売業や飲食業で需要の回復が進んでいますが、供給制約があり、増収は限定的でした。

ビジュアルコミュニケーション	2020年度 Q3実績	2021年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	407	436	+29	+31	+7.2%
セグメント利益	17	40	+22	+9	+130.7%
セグメント利益率	4.3%	9.2%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- 供給制約により販売台数は限られるものの、モデルミックスの良化や価格対応により増収
- 構造改革による費用抑制で収益性が大幅に改善

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2020年度 Q3実績	2021年度 Q3実績
売上収益(円貨)	-13%	+6%
売上収益(現地通貨)	-12%	-2%
販売台数	-20%	-5%

*1 社内管理帳に基づく指標
伸長率は前年同期比

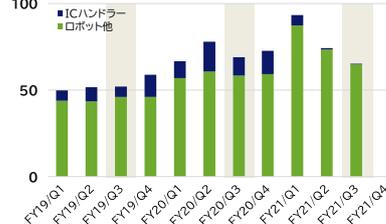
■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- マイクロデバイス他が好調で増収増益
- ・ マニファクチャリングソリューションズは、ロボットで自動車関連の販売が増加
- ・ ウェアラブル機器は、高価格品・ムーブメントを中心に回復が進み増収
- ・ マイクロデバイス他は、水晶デバイス、微細合金粉末が増収

マニファクチャリング関連 ウェアラブル	2020年度 Q3実績	2021年度 Q3実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	432	474	+41	+22	+9.5%
マニファクチャリングソリューションズ ^{*2}	69	65	-3	-	-5.7%
ウェアラブル機器	79	91	+12	-	+15.3%
マイクロデバイス他	253	275	+21	-	+8.7%
PC	37	49	+11	-	+31.7%
事業間売上収益	-6	-8	-1	-	-
セグメント利益	18	61	+42	+8	+225.2%
セグメント利益率	4.3%	12.9%			

*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

マニファクチャリングソリューションズ事業売上収益推移

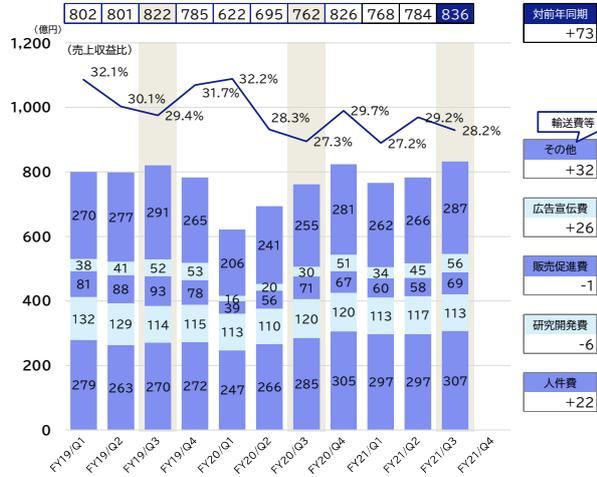


- ビジュアルコミュニケーションは、売上収益が 29億円増収の 436億円、セグメント利益が 22億円増益の 40億円となりました。
- プロジェクターが、欧米の教育市場向けや、ホーム向けで需要はあるものの、供給制約があり、販売台数は前年同期に対してマイナス5%となりました。
- 一方、売上収益は、モデルミックスの良化や、価格対応により、増収となりました。
- 収益性は、構造改革を実施し、費用の抑制を継続していることで、大幅に改善しています。
- マニファクチャリング関連・ウェアラブルは、売上収益は 41億円 増収の 474億円、セグメント利益が 42億円 増益の 61億円となりました。
- マニファクチャリングソリューションズは、グラフのように、譲渡したICハンドラー事業のマイナス影響がありましたが、ロボットは欧米などの自動車関連向けを中心に増収となりました。
- なお、主要な市場である中国向けの売上収益は、第1四半期に需要回復を捉え伸長させましたが、その後は顧客の部材調達難による受注調整があり、第3四半期は前年同期並となりました。
- ウェアラブル機器は、ウォッチ市場で、新型コロナウイルス影響で大きく落ち込んだ前年同期から、高価格品・ムーブメントを中心に回復が進み、増収となりました。
- 収益性は、構造改革による費用抑制が進んだことで、大幅に改善しています。
- マイクロデバイス他は、需要が旺盛で、増収となりました。

第3四半期実績 | 販売費及び一般管理費の推移

販管費変動：効率的な執行を継続。来年度以降も見据えた認知度向上に向けた広告宣伝も実施

販売費および一般管理費推移



シャキール・オニール氏(北米向けプロモーション)

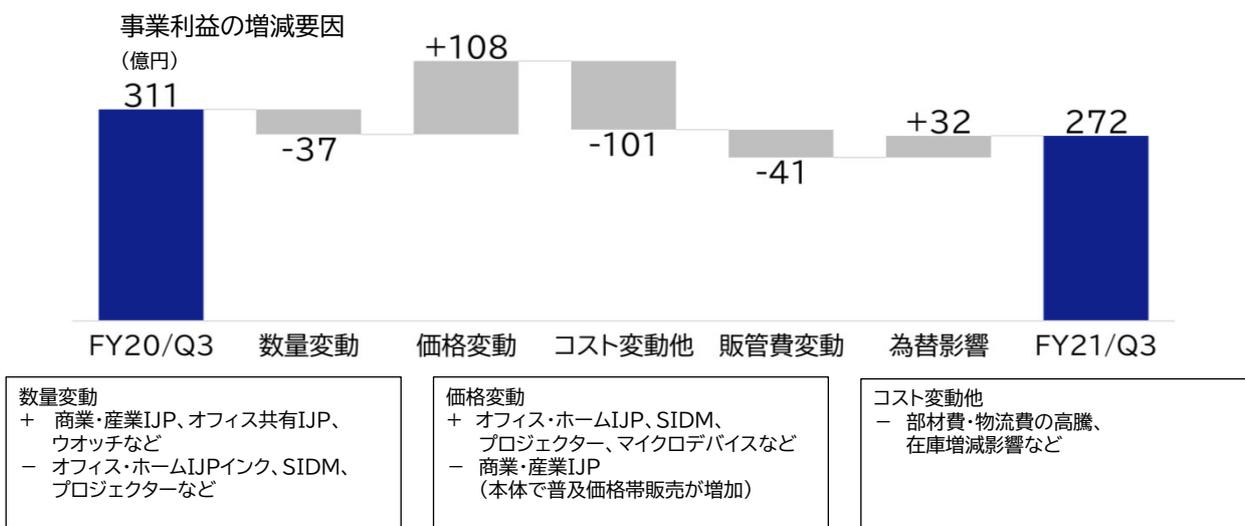


ウサイン・ボルト氏(欧州)

レイ・チャン氏(中国)

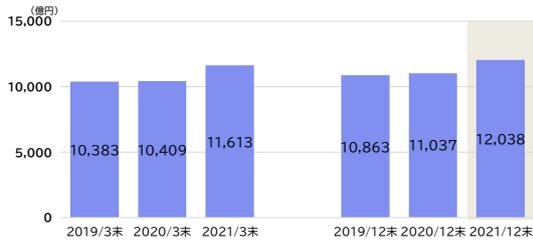
- 販売費及び一般管理費の推移は、ご覧の通りです。
- 来年度以降も見据えた、大容量インクタンクモデルの認知度向上に向けた、広告宣伝の実施などにより、前年同期に対して増加しましたが、効率的な執行を継続しています。
- なお、「その他」の費用は、輸送費などを中心に増加しました。

■ 供給制約や部材費・物流費の高騰に対し、価格対応や費用抑制を継続

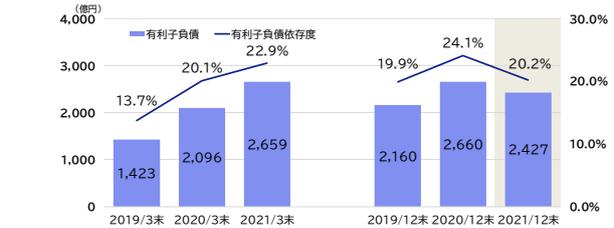


- 事業利益の増減要因分析は、ご覧の通りです。
- 数量変動は、商業・産業IJPやオフィス共有IJPの拡大や、ウォッチの回復影響がありました。しかし、オフィス・ホームIJPのインクのマイナスや、供給制約が継続したSIDM、プロジェクターなどのマイナスが上回りました。
- 価格変動は、需給バランスを踏まえた価格対応を実施していることで、多くの商品でプラスとなりました。
- コスト変動他は、部材費・物流費などの高騰もあり、マイナスとなりました。

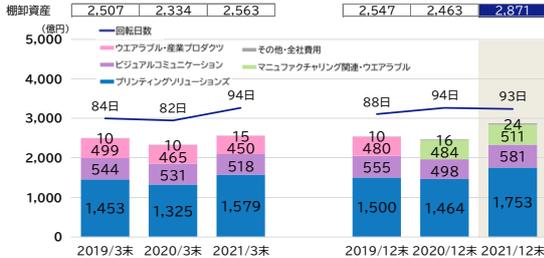
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



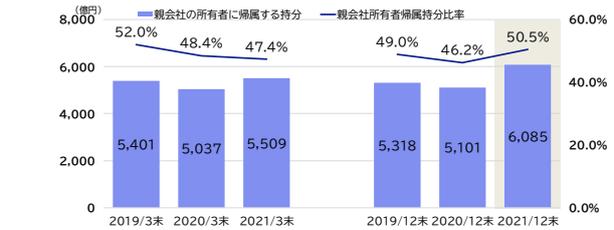
棚卸資産・回転日数



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



*回転日数(3月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高/連結会計期間末前12ヶ月間の1日当たり売上収益
*回転日数(12月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高/連結会計期間末前9ヶ月間の1日当たり売上収益

- 財政状態計算書の主要項目について、ご説明します。
- 資産合計は、前年度末に対して 425億円増加し、1兆2,038億円となりました。
- 棚卸資産は、部材調達難や物流混乱による仕掛品の増加などにより、307億円増加の 2,871億円、回転日数は 93日となりました。
- 有利子負債は、231億円減少し、2,427億円となりました。
- 親会社の所有者に帰属する持分合計は、前年度末に対して 576億円増加し、6,085億円となりました。

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- **2021年度通期業績予想**
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

2021年度 通期業績予想 | ハイライト

	2020年度		2021年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	10/29予想	%	今回予想	%	対前期	対10/29予想
売上収益		9,959		11,300		11,300		+1,340 +13.5%	— —
事業利益		616	6.2%	800	7.1%	850	7.5%	+233 +37.9%	+50 +6.3%
営業利益		476	4.8%	750	6.6%	840	7.4%	+363 +76.3%	+90 +12.0%
税引前利益		449	4.5%	720	6.4%	830	7.3%	+380 +84.7%	+110 +15.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		309	3.1%	520	4.6%	630	5.6%	+320 +103.7%	+110 +21.2%
EPS*1(円)		89.38		150.28		182.07			
為替レート (円、指数)	USD	¥106.01		¥111.00		¥112.00			
	EUR	¥123.67		¥130.00		¥130.00			
その他通貨*2		100		108		109			
第4四半期の 為替前提(円)	USD	114.00		為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み	
	EUR	130.00		売上収益	-30	-14	-30	+540	
				事業利益	+7	-9	-13	+150	

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の為替レートを為替レームに応じて
加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額 (億円)
その他通貨は1%の円高による年間影響額 (億円)

- 続きまして、通期業績予想をご説明します。
- 売上収益は、前回予想から据え置き 1兆1,300億円、
事業利益は、50億円 上方修正し 850億円、
当期利益は、630億円 としました。
- 前年度からの為替変動による影響は、円安により、
売上収益で 約540億円のプラス、
事業利益で 約150億円のプラスを見込みます。

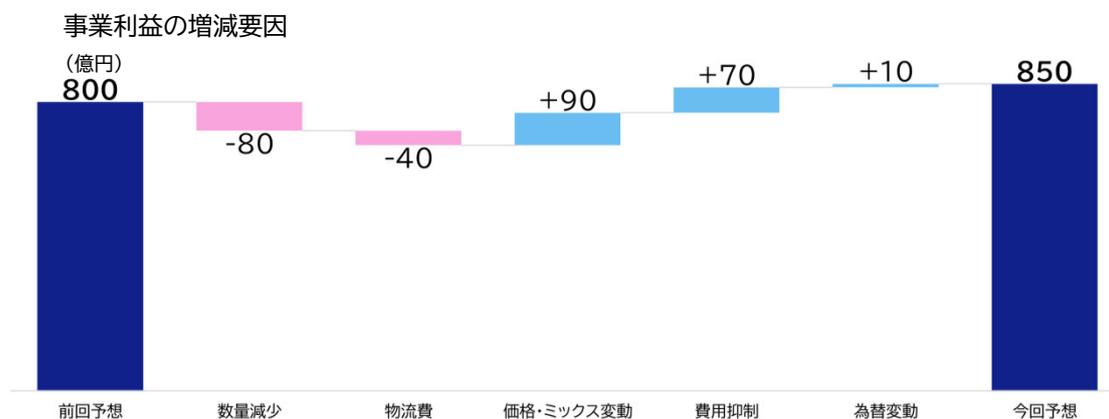
- 第3四半期は社内計画を上回ったものの、第4四半期に事業環境変化のリスクを織り込む
 - 生産体制に問題はないものの、半導体などの調達難による供給制約は悪化
 - 航空輸送対応、海上輸送費の増加により、物流費はさらに増加

事業・事業セグメント(修正金額)	前回10/29予想からの前提の変化
オフィス・ホームプリンティング 売上収益-10億円、事業利益+40億円	・オフィス・ホームIJP、SIDMが部材調達難による供給制約の悪化 ・IJP本体の販売価格は従来計画より高値で推移 ・物流費の増加
商業・産業プリンティング 売上収益-40億円、事業利益-30億円	・小型プリンター、商業・産業IJP(完成品)の供給制約が悪化 ・物流費の増加
ビジュアルコミュニケーション 売上収益+40億円、事業利益+30億円	・調達可能な部品の変化があり、モデルミックスが良化 ・物流費の増加
マニュファクチャリング関連・ウエアラブル 売上収益+20億円、事業利益+20億円	・ロボット市場の足元で堅調な状況を反映 ・マイクロデバイスは旺盛な需要が継続

- 前回10/29予想からの前提の変化について、ご説明します。
- 第3四半期は、前回予想の前提となる社内計画に対して、販売価格が高値で推移したことなどにより、事業利益が約70億円 上回りました。
- 今回予想で、第4四半期は、半導体などの調達難による供給制約のさらなる悪化、B2B案件を中心とした航空輸送対応や、海上輸送費の増加による物流費の増加など事業環境の変化を、リスクとして慎重に織り込み、約20億円 引き下げました。
- オフィス・ホームプリンティングは、オフィス・ホームIJP、SIDMでの供給制約の悪化により、売上収益を下方修正します。
- 事業利益は、物流費の増加があるものの、IJP本体の販売価格が従来計画より高値で推移することを想定し、上方修正します。
- 商業・産業プリンティングは、小型プリンター、商業・産業IJP 完成品ビジネスの供給制約の悪化と、物流費の増加により、売上収益・事業利益ともに下方修正します。
- ビジュアルコミュニケーションでは、物流費の増加を見込みますが、調達可能な部品の変化があり、モデルミックスが良化したことで、売上収益・事業利益ともに上方修正します。
- マニュファクチャリング関連・ウエアラブルは、ロボットの足元での堅調な市場状況や、マイクロデバイスの旺盛な需要の継続を織り込み、売上収益・事業利益ともに上方修正します。

前回10/29予想からの事業利益の変化

- 供給制約により販売数量が減少、物流費も増加
- 需給バランスを踏まえた価格対応・費用抑制により、50億円の上方修正



- 前回予想からの事業利益の増減要因をご説明します。
- 需要は引き続き強いものの、供給制約が悪化し、販売数量の減少を見込みます。
- さらに物流費の増加を40億円見込みますが、需給バランスを踏まえた価格対応や、モデルミックスの良化に加え、供給制約を考慮した費用抑制、為替変動によるプラス影響により、50億円の上方修正となります。

2021年度通期業績予想 | プリンティングソリューションズ



プリンティングソリューションズ	2020年度実績	2021年度10/29予想	2021年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	(億円) 対10/29予想
売上収益	6,911	7,870	7,820	+908	+13.1%	-50
セグメント利益	1,062	1,030	1,040	-22	-2.1%	+10
セグメント利益率	15.4%	13.1%	13.3%			

オフィス・ホームプリンティング	2020年度実績	2021年度10/29予想	2021年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対10/29予想
売上収益	5,117	5,700	5,690	+572	+11.2%	-10
構成比						
オフィス・ホームIJP	86%	88%	88%			
SIDM	5%	5%	5%			
その他	9%	7%	7%			
事業利益	825	680	720	-105	-12.8%	+40
事業利益率	16.1%	11.9%	12.7%			

商業・産業プリンティング	2020年度実績	2021年度10/29予想	2021年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対10/29予想
売上収益	1,795	2,170	2,130	+334	+18.7%	-40
商業・産業IJP	1,230	1,550	1,530	+299	+24.4%	-20
小型プリンター他	564	620	600	+35	+6.2%	-20
事業利益	236	350	320	+83	+35.0%	-30
事業利益率	13.2%	16.1%	15.0%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- ・前回予想から、オフィス・ホームIJP、SIDMが、部材調達難による供給制約の悪化、物流費の増加
- ・需給バランスを踏まえた価格対応、費用抑制の継続

■ 商業・産業プリンティング

- ・小型プリンターや完成品ビジネスで、供給制約のさらなる深刻化、物流費の増加
- ・将来成長に向けた費用投下は着実に実行

販売動向(社内管理値に基づく指標)	FY20実績	FY2110/29予想	FY21予想	
オフィス・ホームIJP				
本体販売数量				
伸長率	-2%	+15%	+12%	
約、万台	1,540	1,770	1,720	
内 大容量インクタンクモデル	1,040	1,240	1,200	
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	460	500	490	
内 オフィス共有IJP	30	30	30	
オフィス・ホームIJP	(円貨)	+6%	-2%	-3%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	+7%	-	-
オフィス・ホームIJP内				
オフィス共有IJP売上収益比率	9%	11%	10%	

- プリンティングソリューションズの通期予想はご覧のとおりです。
- セグメント全体では、売上収益を 50億円 下方修正し 7,820億円としますが、セグメント利益を上方修正し 1,040億円とします。
- オフィス・ホームプリンティングは、供給制約や物流費の増加に対して、需給バランスを踏まえた価格対応や、費用の抑制を継続することで、売上収益は、10億円 下方修正し 5,690億円、事業利益は、40億円 上方修正し 720億円とします。
- オフィス・ホームIJPの本体の販売台数は、前回予想から 50万台の減少としますが、前年度からは大容量インクタンクモデルを中心に、180万台増加の 1,720万台を見込みます。
- インクの販売は、本体の販売台数の減少に伴い、前回予想から若干の減少を見込みます。
- 商業・産業プリンティングは、売上収益を 40億円 下方修正し 2,130億円、事業利益を 30億円 下方修正し 320億円とします。
- 小型プリンターや商業・産業IJP 完成品ビジネスで、供給制約のさらなる深刻化に加え、航空輸送対応などによる物流費の増加を織り込みます。
- なお、商業・産業IJPの商品ラインアップのさらなる拡充などに向け、将来成長に向けた費用投下は、着実に実行していきます。

2021年度通期業績予想

ビジュアルコミュニケーション
マニファクチャリング関連・ウェアラブル



ビジュアルコミュニケーション	2020年度 実績	2021年度 10/29予想	2021年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対10/29 予想
売上収益	1,414	1,560	1,600	+185	+13.1%	+40
セグメント利益	13	110	140	+126	+938.0%	+30
セグメント利益率	1.0%	7.1%	8.8%			

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2020年度 実績	2021年度 10/29予想	2021年度 今回予想
販売台数(約,万台)	170	170	170
伸長率	-30%	+3%	+4%

*1 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同月比

■ ビジュアルコミュニケーション

- 第3四半期の業績は前回予想を上回った
- 第4四半期は、供給制約が悪化、航空輸送対応による物流費も増加
- 費用抑制は継続し、収益性が改善

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2020年度 実績	2021年度 10/29予想	2021年度 今回予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対10/29 予想
売上収益	1,654	1,880	1,900	+245	+14.8%	+20
マニファクチャリングソリューションズ ^{*2}	286	270	290	+3	+1.2%	+20
ウェアラブル機器	281	330	330	+48	+17.2%	-
マイクロデバイス他	943	1,130	1,130	+186	+19.7%	-
PC	165	180	180	+14	+8.7%	-
事業間売上収益	-23	-30	-30	-6	-	-
セグメント利益	52	190	210	+157	+297.6%	+20
セグメント利益率	3.2%	10.1%	11.1%			

*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- マニファクチャリングソリューションズは、ロボット市場の足元で堅調な状況を反映
- ウェアラブル機器は、収益性の改善に継続的に取り組む
- マイクロデバイス他は、旺盛な需要を受け、水晶デバイス・半導体ともに好調

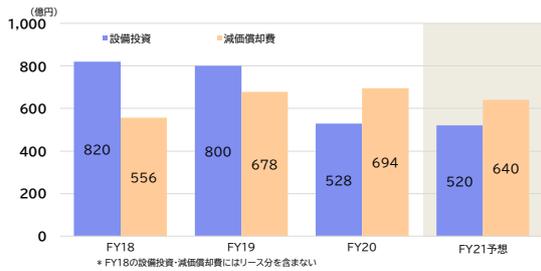
- ビジュアルコミュニケーションは、売上収益を 40億円 上方修正し 1,600億円、セグメント利益を 30億円 上方修正し 140億円とします。
- 第3四半期は前回予想を上回りましたが、第4四半期には、供給制約の悪化や、納期対応のための、航空輸送などによる物流費の増加も見込みます。
- マニファクチャリング関連・ウェアラブルは、売上収益を 20億円 上方修正し、1,900億円、セグメント利益を 20億円 上方修正し、210億円とします。
- マニファクチャリングソリューションズは、足元の堅調なロボット市場の状況を反映しました。
- マイクロデバイス他では、水晶デバイスや半導体の旺盛な需要が継続しています。

2021年度通期業績予想 | 主要費用・フリーキャッシュフロー・経営指標 **EPSON** EXCEED YOUR VISION

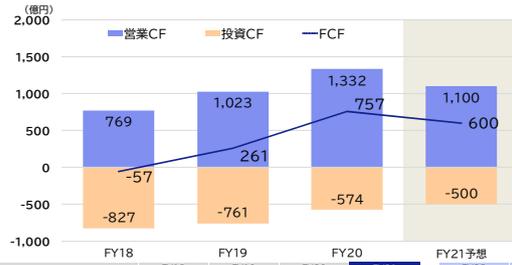
研究開発費



設備投資・減価償却費



フリー・キャッシュ・フロー



主要経営指標	FY18 実績	FY19 実績	FY20 実績	FY21 予想	FY23 目標	FY25 目標
為替レート:USD	110.86	108.74	106.01	112円	-	-
為替レート:EUR	128.40	120.85	123.67	130円	-	-
売上収益	10,896	10,436	9,959	11,300億円	-	-
事業利益	704	408	616	850億円	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	537	77	309	630億円	-	-
ROS ^{*1}	6.5	3.9	6.2	7.5%	8%以上	10%以上
ROA ^{*2}	6.8	3.9	5.6	7.2%	-	-
ROE ^{*3}	10.2	1.5	5.9	11.0%	10%以上	13%以上
ROIC ^{*4}	7.2	4.1	5.6	7.2%	8%以上	11%以上

*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益
 *2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均
 *3 親会社所有者帰属当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均
 *4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

- 研究開発費は、前回予想から変更はありません。
- 設備投資は、部材不足による装置の納入遅延や、投資時期の見直しにより、前回予想から 60億円減の 520億円としました。
- 減価償却費は、前回予想から変更はありません。
- キャッシュフローは、営業キャッシュフロー、投資キャッシュフローともに修正した結果、フリーキャッシュフローは前回予想より 50億円上方修正し、600億円を予想します。
- 主要経営指標はご覧のとおりです。ROEは 11%を予想します。
- 引き続き、資本コストを意識し、収益性を重視した経営に取り組んでまいります。

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2021年度通期業績予想
- **株主還元**
- 持続的成長に向けた取り組み

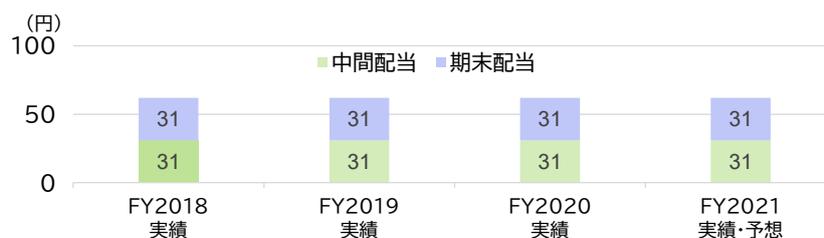
■ 基本方針

- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元と並行して取り組む
 - ✓ 中期的には連結配当性向*40%程度を目標
 - ✓ 株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式を取得

* 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

■ 配当実績・予想

- 前年度と同額の1株当たり62円



- 株主還元について、変更はありません。
- 2021年度の配当予想は、前年度と同額の、1株当たり 62円の予想です。

- ご説明のポイント
- 第3四半期実績
- 2021年度通期業績予想
- 株主還元
- 持続的成長に向けた取り組み

■ 第3回日経SDGs経営大賞(日本経済新聞社主催) 「環境価値賞」を受賞

- 特に気候変動に対する取り組みが評価



■ CDPの企業調査において、 「気候変動」「水セキュリティ」で、最高評価「Aリスト企業」に2年連続で選出

■ 中国主力工場でも、RBA監査のプラチナ認証*を取得

- インドネシア、タイの工場に続き3拠点目

* 監査において、満点(200点)を取得した企業に与えられる



CLIMATE WATER

■ 全米女子プロゴルフ協会とオフィシャルパートナーとして提携

- エプソンブランドの認知度向上
- ゴルフを通じたダイバーシティの推進を積極的に支援



EPSON
EXCEED YOUR VISION

Official Partner

- 最後に、持続可能でこころ豊かな社会の実現に向けた取り組みについて、ご説明します。
- エプソンの取り組みは、SDGsの達成と目的は同じです。
- 特に気候変動に対する取り組みを評価いただき、「日経SDGs経営大賞」において「環境価値賞」を受賞しました。
- また、CDPが実施する企業調査において、「気候変動」と「水セキュリティ」の2分野で、最高評価となる「Aリスト」企業に2年連続で選出されたことも、合わせてご報告します。
- さらに、中国の主力工場でも、RBAのプラチナ認証を取得しました。これにより、国際的な規範に準拠した拠点から、より多くの商品をお届けできるようになりました。
- なお、昨日、全米女子プロゴルフ協会とオフィシャルパートナーとして提携したことを発表しましたが、これは、エプソンブランドの認知度向上と、協会が進めるゴルフを通じたダイバーシティ推進の支援が目的です。
- エプソンは、引き続き、環境問題をはじめとする様々な社会課題の解決に、真摯に取り組んでまいります。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料

2021年度 第3四半期累計実績 | ハイライト

	2020年度		2021年度		対前年同期	
	(億円) Q3累計実績	%	Q3累計実績	%	増減額	増減率
売上収益	7,179		8,467		+1,287	+17.9%
事業利益	458	6.4%	769	9.1%	+310	+67.8%
営業利益	339	4.7%	784	9.3%	+445	+131.5%
税引前利益	298	4.2%	790	9.3%	+492	+165.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	202	2.8%	615	7.3%	+412	+203.1%
EPS*1 (円)	58.66		177.79			
為替レート (円、指数)	USD	¥106.06	¥111.08			
	EUR	¥122.33	¥130.58			
	その他通貨*2	100	110			

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+120	+85	+216	+422
事業利益	-24	+54	+115	+145

*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ポリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

2021年度 第3四半期累計実績 | プリンティングソリューションズ

EXCEED YOUR VISION

(億円)

プリンティングソリューションズ	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	4,960	5,809	+848	+296	+17.1%
セグメント利益	789	859	+69	+95	+8.8%
セグメント利益率	15.9%	14.8%			

(億円)

オフィス・ホームプリンティング	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	3,696	4,173	+476	+210	+12.9%
構成比 オフィス・ホームIJP	87%	87%			
SIDM	5%	5%			
その他	8%	8%			
事業利益	656	565	-91	+59	-14.0%
事業利益率	17.8%	13.5%			

(億円)

商業・産業プリンティング	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,264	1,636	+371	+85	+29.4%
商業・産業IJP	864	1,162	+298		+34.5%
小型プリンター他	399	473	+73		+18.4%
事業利益	133	294	+161	+35	+121.0%
事業利益率	10.5%	18.0%			

2021年度 第3四半期累計実績 | ビジュアルコミュニケーション マニファクチャリング関連・ウェアラブル



(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,019	1,243	+224	+79	+22.0%
セグメント利益	-8	132	+141	+33	-
セグメント利益率	-0.8%	10.7%			

(億円)

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,212	1,428	+216	+48	+17.8%
マニファクチャリングソリューションズ*	213	232	+18		+8.9%
ウェアラブル機器	210	265	+54		+26.1%
マイクロデバイス他	695	819	+123		+17.8%
PC	109	133	+24		+22.4%
事業間売上収益	-16	-22	-6		-
セグメント利益	45	174	+128	+17	+281.4%
セグメント利益率	3.8%	12.2%			

* ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

主要製品の販売動向

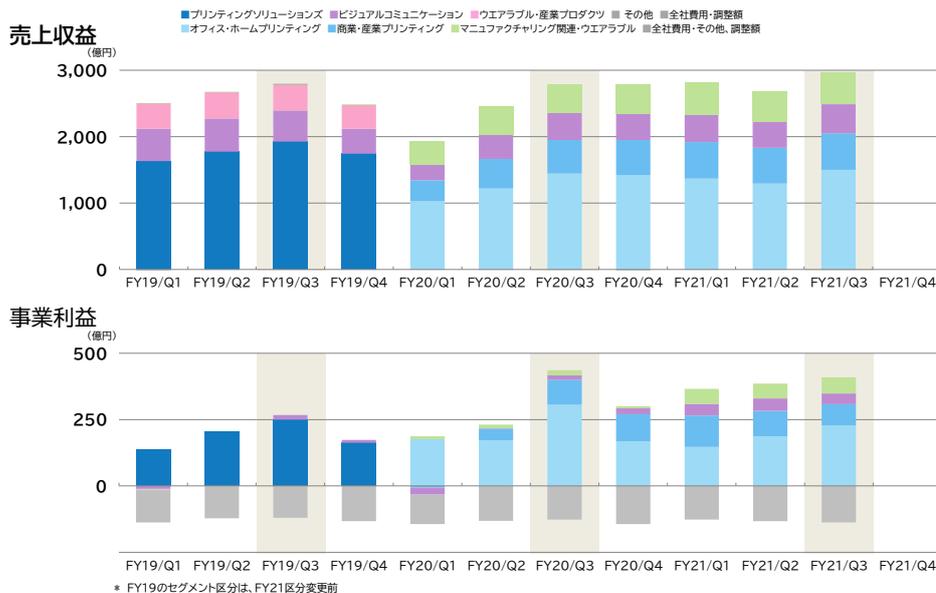


			FY2020 Q1 実績	FY2020 Q2 実績	FY2020 Q3 実績	FY2020 Q4 実績	FY2020 通期 実績	FY2021 Q1実績	FY2021 Q2実績	FY2021 Q3実績	FY2021 通期 予想		
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD	107.54	106.16	104.48	105.86	106.01	109.46	110.08	113.71	112.00	
			EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	123.67	131.91	129.77	130.08	130.00	
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	-14%	+2%	+17%	+36%	+12%	+85%	+20%	+10%	+27%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-8%	+5%	+22%	+37%	+15%	+74%	+14%	+3%	-	
		本体数量	伸長率	-17%	-9%	+2%	+14%	-2%	+63%	+4%	-8%	+12%	
		内 大容量インクタンクモデル	台数(万台)	-	-	-	-	約1,540	-	-	-	-	約1,720
		内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル	台数(万台)	-	-	-	-	約1,040	-	-	-	-	約1,200
		内 オフィス共有IJP	台数(万台)	-	-	-	-	約460	-	-	-	-	約490
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比	-	-	-	-	47%	-	-	-	-	40%
		売上収益(円貨)	伸長率	+15%	+7%	+5%	-1%	+6%	-7%	-4%	-2%	-3%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+19%	+8%	+6%	-1%	+7%	-11%	-7%	-6%	-	
	オフィス共有IJP 本体+インク	オフィス・ホームIJP内 売上収益比率	構成比	9%	10%	9%	11%	9%	11%	11%	10%	10%	
	SIDM 本体	売上収益(円貨)	伸長率	-43%	-16%	-19%	+28%	-17%	+40%	-20%	-1%	-0%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-40%	-15%	-18%	+26%	-16%	+30%	-25%	-9%	-	
本体数量		伸長率	-39%	-16%	-22%	+33%	-16%	+25%	-28%	-18%	-10%		
ビジネス コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	-52%	-24%	-13%	+4%	-23%	+72%	+7%	+6%	+13%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-50%	-24%	-12%	+3%	-22%	+60%	+1%	-2%	-	
		本体数量	伸長率	-57%	-32%	-20%	-6%	-30%	+67%	-2%	-5%	+4%	
		本体数量	台数(万台)	-	-	-	-	約170	-	-	-	-	約170

財務データ(2020年度・2021年度)

		FY2020	FY2020	FY2020	FY2020	FY2020	FY2021	FY2021	FY2021	FY2021	(億円)
		Q1	Q2	Q3	Q4	実績	Q1	Q2	Q3	Q4	FY2021
		実績	実績	実績	実績		実績	実績	実績	実績	予想
為替レート	USD	107.54	106.16	104.48	105.86	106.01	109.46	110.08	113.71		112.00
(円)	EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	123.67	131.91	129.77	130.08		130.00
プリンティングソリューションズ	売上収益	1,343	1,663	1,952	1,951	6,911	1,923	1,832	2,053		7,820
	セグメント利益	171	216	401	272	1,062	266	283	308		1,040
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,024	1,223	1,448	1,421	5,117	1,371	1,298	1,503		5,690
	事業利益	177	172	307	168	825	147	187	229		720
商業・産業プリンティング	売上収益	319	440	504	530	1,795	551	534	550		2,130
	事業利益	-6	44	94	103	236	119	96	79		320
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	235	376	407	395	1,414	407	399	436		1,600
	セグメント利益	-27	1	17	22	13	44	47	40		140
マニファクチャリング関連・ウェアラブル	売上収益	355	424	432	442	1,654	495	458	474		1,900
	セグメント利益	10	15	18	7	52	56	56	61		210
全社費用・その他、調整額	売上収益	-2	-4	-5	-9	-21	-4	-6	-2		-20
	セグメント利益	-110	-131	-126	-143	-512	-126	-132	-137		-540
	売上収益	1,932	2,459	2,788	2,779	9,959	2,821	2,684	2,961		11,300
	事業利益	43	102	311	157	616	242	254	272		850
	ROS	2.3%	4.2%	11.2%	5.7%	6.2%	8.6%	9.5%	9.2%		7.5%
連結合計											
研究開発費		113	110	120	120	464	113	117	113		480
設備投資	プリンティングソリューションズ	44	92	65	70	272	51	60	64		300
	ビジュアルコミュニケーション	20	27	14	18	80	9	9	9		50
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	16	26	18	43	105	14	21	32		120
	全社費用・その他	7	16	19	26	69	6	9	14		50
	プリンティングソリューションズ	96	94	94	94	380	94	92	94		370
	ビジュアルコミュニケーション	31	31	33	33	130	26	25	25		100
減価償却費	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	26	26	26	23	103	21	21	21		90
	全社費用・その他	20	20	19	19	79	19	19	19		80
営業CF		118	336	476	400	1,332	213	349	310		1,100
FCF		-54	174	355	282	757	98	244	213		600

四半期決算の推移(2019年度~2021年度)



海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート(円)	USD	109.93	107.31	108.72	109.00	107.54	106.16	104.48	105.86	109.46	110.08	113.71
	EUR	123.54	119.34	120.35	120.18	118.39	124.10	124.51	127.68	131.91	129.77	130.08

売上収益(億円)	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	対前年同期
米州	745	717	712	753	598	719	733	827	852	801	810	+76
欧州	479	537	593	529	397	500	587	598	583	571	623	+35
アジア・オセアニア	725	758	744	585	495	739	797	749	868	789	844	+46
海外売上収益計	1,951	2,014	2,051	1,869	1,490	1,959	2,119	2,175	2,304	2,162	2,278	+158
連結合計	2,496	2,664	2,798	2,476	1,932	2,459	2,788	2,779	2,821	2,684	2,961	+173

構成比	FY19/Q1	FY19/Q2	FY19/Q3	FY19/Q4	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3
米州	29.9%	26.9%	25.5%	30.4%	31.0%	29.3%	26.3%	29.8%	30.2%	29.9%	27.4%
欧州	19.2%	20.2%	21.2%	21.4%	20.6%	20.4%	21.1%	21.5%	20.7%	21.3%	21.0%
アジア・オセアニア	29.1%	28.5%	26.6%	23.7%	25.6%	30.1%	28.6%	27.0%	30.8%	29.4%	28.5%
海外売上収益計	78.2%	75.6%	73.3%	75.5%	77.2%	79.7%	76.0%	78.3%	81.7%	80.6%	76.9%

従業員数

期末従業員数(人)	2019/6末	2019/9末	2019/12末	2020/3末	2020/6末	2020/9末	2020/12末	2021/3末	2021/6末	2021/9末	2021/12末	対前年同期
国内	19,879	19,825	19,456	19,558	19,962	19,723	19,620	19,470	19,827	19,805	19,788	+168
海外	58,918	58,914	57,191	56,050	57,107	59,287	62,618	60,474	60,813	60,000	59,917	-2,701
連結合計	78,797	78,739	76,647	75,608	77,069	79,010	82,238	79,944	80,640	79,805	79,705	-2,533

事業セグメントの変更

変更前(2020年度)

プリンティングソリューションズ	
プリンター	
オフィス・ホームIJP	
大容量インクタンクモデル	
SOHO・ホーム向けI/Cモデル	
オフィス共有IJP	
SIDM	
その他	
プロフェッショナルプリンティング	
商業・産業IJP	
小型プリンター他	
その他(PC他)	
ビジュアルコミュニケーション	
ウェアラブル・産業プロダクト	
ウェアラブル機器	
ロボティクスソリューションズ	
マイクロデバイス他	
その他	
全社費用	

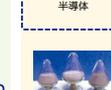
変更後(2021年度)

プリンティングソリューションズ	
オフィス・ホームプリンティング	
オフィス・ホームIJP	
大容量インクタンクモデル	
SOHO・ホーム向けI/Cモデル	
オフィス共有IJP	
SIDM	
その他	
商業・産業プリンティング	
商業・産業IJP	
小型プリンター他	
ビジュアルコミュニケーション	
マニファクチャリング関連・ウェアラブル	
マニファクチャリングソリューションズ*	
ウェアラブル機器	
マイクロデバイス他	
PC	
全社費用・その他	



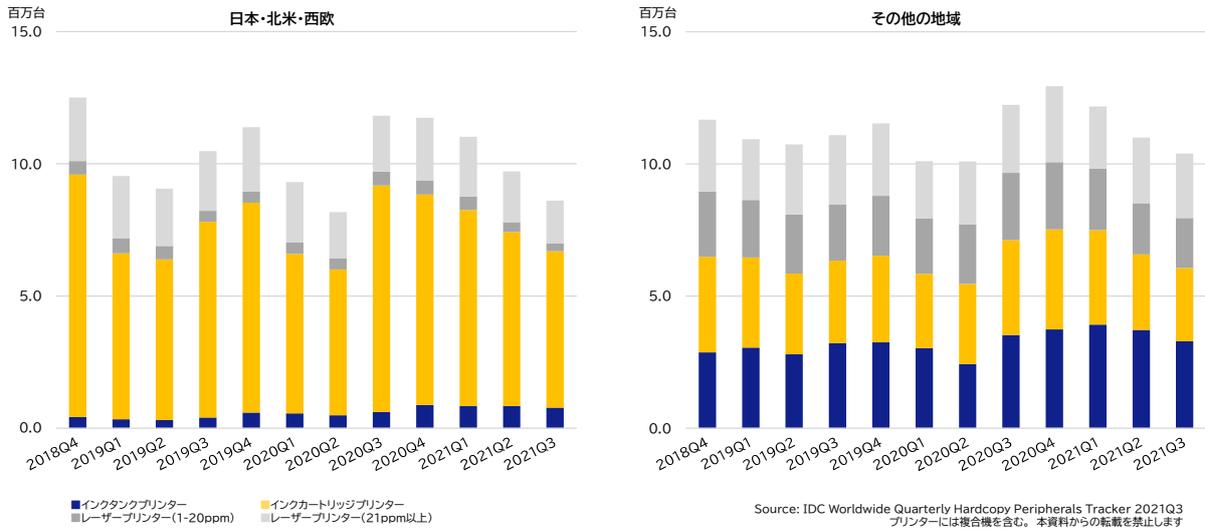
*全社費用のマニファクチャリング関連商品を、マニファクチャリングソリューションズ事業に移管

ビジネス領域

イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニュファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニュファクチャリング関連・ウエアラブル			
事業 ・ 主要製品	オフィス・ホームプリンティング オフィス・ホームIJP SOHO・ホーム  大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル オフィス共有  大容量インクパックモデル (RIPS) オフィス向けインクカートリッジモデル 高速ラインインクジェット複合機 (LLI) SIDM PaperLab スキャナー レーザープリンター	商業・産業プリンティング 商業・産業IJP 完成品ビジネス  フォト コーポレート サイネージ ラベルプリンター テキスタイル ラベル印刷機 プリントヘッド外販ビジネス IJプリントヘッド、インク 小型プリンター他 小型プリンター 小型ラベルプリンター	プロジェクター 高光束  超短焦点  スタンダード  ホーム  小型 ライティング スマートグラス 	マニュファクチャリングソリューションズ ロボット  スカラ  6軸  オプション  小型射出成形機 	ウエアラブル機器 エプソンブランド  TRUME  オリエント  ムーブメント  セイコービジネス 	マイクロデバイス他 マイクロデバイス  EPSON EXTERNAL SEMI 半導体  エプソンダイレクトPC  微細合金粉末  表面処理加工 	PC エプソンダイレクトPC 

大容量インクタンクモデルの浸透

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode(有機EL)
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

EPSON
EXCEED YOUR VISION